



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月の素朴な疑問

台風が接近していますが暴風域に入りますか？

台風のシーズンとなってきました。台風が接近し暴風警報が発表されると休校となる学校も多いかと思えます。そのため、暴風警報が発表されるのか、暴風域に入るのか気になる方も多いかと思えます。今回は、「暴風域に入る確率」について紹介いたします。

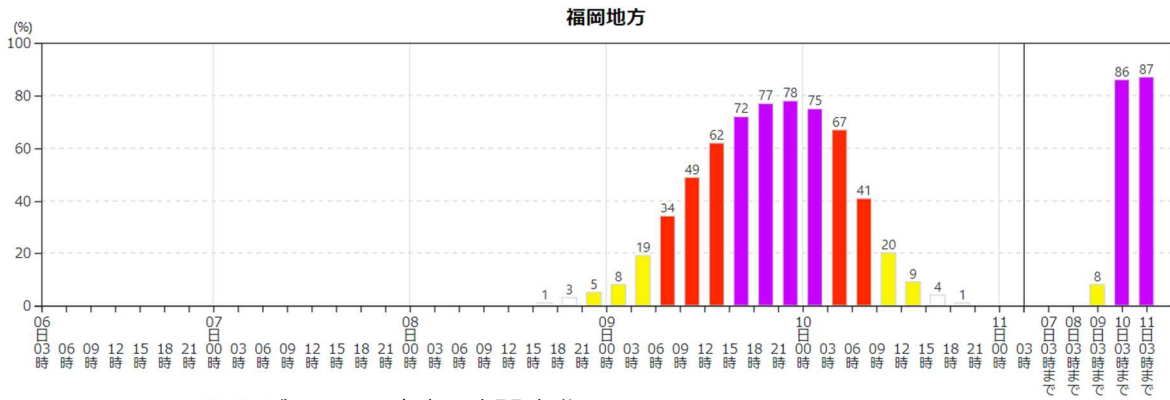


台風情報を見る時の注意点

台風とは熱帯低気圧のうち最大風速が約 17m/s 以上に発達したもので、さらに発達した台風は風速 25m/s 以上の暴風域を伴うものがあります。福岡県の暴風警報の基準は風速 20m/s のため、暴風域に入らなくても暴風警報が発表される可能性があります。

左図のような台風が進むコースを予想した情報をテレビなどで見ることがあると思います。「白い円」は予報円と呼ばれていて、台風が進む予想範囲を示しており、台風が進む範囲を示してあり、台風が進んできた際に暴風域に入るおそれのある範囲全体を示しています。この

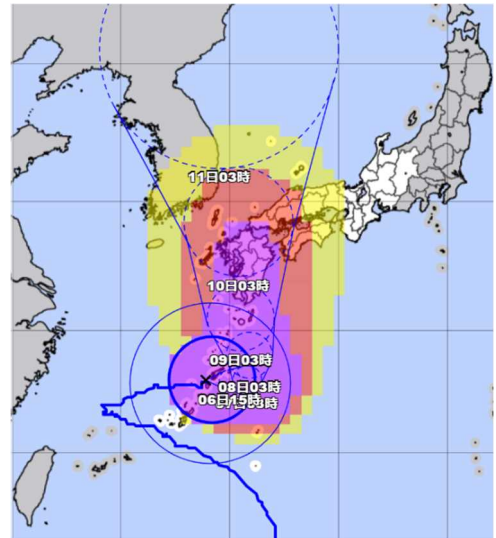
ため、台風情報を見た時に、この赤い線の内側に入っている地域は暴風域に入る可能性があります。では、その可能性はいつ、どこで、どれくらいか気になりますよね？



暴風域に入る確率 時間変化


気象庁のホームページでは「暴風域に入る確率」という情報があります。5日先までの暴風域に入る確率を確認出来るため、台風が接近する数日前から対応の準備をすることが出来ます。

「暴風域に入る確率」には、右図のような地図上に色分けしたものや、上図のような3時間毎の棒グラフがあります。棒グラフの、暴風域に入る確率の値が増加している時間帯は暴風域に入る可能性が高くなります。また、確率が最も高い時間帯は暴風域に入っている可能性が最も高いことを示します。上図の場合には、6日朝の時点の予想で福岡地方は



暴風域に入る確率 分布図

「9日午前中に暴風域に入り、10日午前中には暴風域から抜ける可能性が高い」ことが分かります。ただし、台風の接近に伴って確率の予想が変わる場合もありますので、常に最新の台風情報や気象情報を利用してください。

気象庁ホームページのトップページから、「大雨・台風」をクリック、あなたの街の設定画面が出た場合は設定、台風情報の「詳しく見る」[詳しく見る](#)をクリックし、「全ての台風(台風経路図)」[全ての台風\(台風経路図\)](#)をクリックすると「暴風域に入る確率」が選択できるようになりますので、台風の接近が予想される時には是非見てみてください。

ご意見をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail : fukuoka_bousaichousa@met.kishou.go.jp

次回の発行は2023年10月の予定です。